01 交通利用応援

取り組みの背景と当社の想い

当社グループは、交通利用のシーンで子育て世帯や学生をサポートするために、さまざまな取り組みを行っています。ベビーカーの利用を考慮した車両や、お子さま連れでも安心して利用できる駅施設などの整備とジュニアオートチャージや子ども見守りサービスなどのサービス提供により、ハード・ソフトの両面で安心して利用できる公共交通を目指しています。

また、子育て世帯向けの割引サービスを実施することで、経済的な負担を軽減するとともに、お子さま向けのイベントやキャンペーンも定期的に開催しています。ご家族がより快適に、そして安心して移動できる環境を提供します。

通学定期運賃の改定

BABY CHILD TEEN

「子育て・学生応援　東急スクラムプロジェクト」立ち上げと合わせた新たな取り組みとして、2025年3月15日から、子育て世帯・学生の家計負担を考慮し、東急線の通学定期旅客運賃を平均約3割値下げします。一例として、1km～3km区間の1か月通学旅客運賃（大人）は、現行1,870円のところ、改定後は1,200円となります。

これまでも、東急線PASMO通学定期券の購入金額に対して通常最大4%のTOKYU POINTを付与するところ、期間限定で上乗せして加算するキャンペーンの実施など、子育て世帯や学生の皆さまに向けたサービスを実施してきました。本取り組みを通じて、学びの期間において、経済的な負担が大きい子育て世帯や学生を応援していきます。

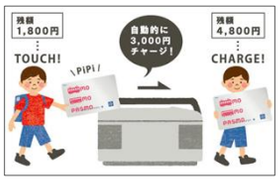
（単位：円）	大　人							
	1か月		3か月		6か月		いちねん定期（12か月）	
	改定前	**改定後**	改定前	**改定後**	改定前	**改定後**	改定前	**改定後**
渋谷～中目黒	1,870	**1,200**	5,330	**3,420**	10,100	**6,480**	20,200	**12,960**
渋谷～横浜	4,270	**3,300**	12,170	**9,410**	23,060	**17,820**	46,120	**35,640**
渋谷～二子玉川	3,120	**2,200**	8,900	**6,270**	16,850	**11,880**	33,700	**23,760**
渋谷～長津田	4,790	**3,600**	13,660	**10,260**	25,870	**19,440**	51,740	**38,880**
渋谷～中央林間	5,280	**3,800**	15,050	**10,830**	28,520	**20,520**	57,030	**41,040**
目黒～日吉	3,450	**2,500**	9,840	**7,130**	18,630	**13,500**	37,260	**27,000**
大井町～溝の口	3,450	**2,500**	9,840	**7,130**	18,630	**13,500**	37,260	**27,000**

詳しくはこちら ＞

TOKYU CARD ジュニアオートチャージ

BABY CHILD TEEN

小学生から18歳までのお子さま向けのPASMOオートチャージサービスです。保護者名義（本人会員）のTOKYU CARDと、お子さまの小児用PASMO（小学生の場合）または記名PASMOを紐づける手続きをしておくことで、お子さまが学校や塾などに通われる際やお出掛け時に、現金の用意や券売機の列に並ぶことなく、いつでも便利にご利用いただけます。



残高が2,000円以下で3,000円チャージされる設定をした場合

詳しくはこちら ＞

01 交通利用応援

東急線キッズパスの発売

BABY CHILD TEEN

土休日に小児のお客さまが100円（税込）で東急線を1日乗り降り自由でご利用いただける企画乗車券です。

域内移動需要の創出を目的とした2022年6月～8月の実証実験での好評を経て、2024年3月16日より「東急線キッズパス」を土休日限定で通年販売しました。通常の東急線ワンデーパス（小児：390円）と比較して約7割以上もお得になることから、「お得に乗車できて嬉しい」などの声をたくさんの子育て世代のお客さまからいただいています。また、鉄道利用の促進や途中下車の増加による回遊効果など、東急線の地域活性化にもつながっています。

より多くの子育て世帯のお客さまにご利用いただくことで、経済的な負担を軽減し、土休日の鉄道でのお出かけをサポートします。

発売対象 小児のお客さま
※6歳以上、12歳未満のお客さま（13歳未満の小学生のお客さまを含む）

発売場所 東急線各駅（世田谷線・こどもの国線を除く）の自動券売機

発売実績 151,838枚（2024年3月16日～12月31日、うち発売日数96日）

本乗車券のポスターイメージ

詳しくはこちら ＞

エキッズ

BABY CHILD TEEN

東急セキュリティでは、東急線および東急バスを利用するお子さま向けの見守りサービス「エキッズ」を提供しています。「エキッズ」は2007年から提供されているサービスで、お子さまが東急線駅の自動改札を通過した際や、東急バスに乗車した際の情報（通過・乗車日時、名前、駅名やバス路線名、行先、乗車停留所名など）を保護者の携帯電話などにメールでお知らせします。

これにより「今どこにいるのか」「いつ迎えに行けばいいのか」といった不安や疑問をタイムリーに解消でき、東急線沿線にお住まいのご家庭や、東急線沿線の学校に通うお子さまの保護者など、1万人を超える方に利用されています。

2021年からは20歳以上の障がいのある方にもサービスを拡大し、家族が安心して見守りを続けられるようになりました。

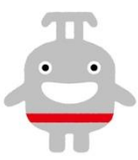
詳しくはこちら ＞

キャラクター「のるるん」/「ノッテちゃん」

BABY CHILD TEEN

東急線キャラクター「のるるん」は、主力車両の5000系をモチーフにしたキャラクターです。お子さまから大人の方まで楽しめるオリジナル体操「のるるん体操」や沿線のイベントに登場し、鉄軌道事業のPRに努めています。

東急バスのキャラクター「ノッテちゃん」は、「たくさんのお客さまに、バスに“乗って”いただきたい」という想いから名付けられました。バスの便利さを知ってもらうため、主に東急線沿線でのさまざまなイベントで大活躍しています。


東急線キャラクター
のるるん

ノッテちゃん
東急バスのキャラクター

のるるん　詳しくはこちら ＞　　ノッテちゃん　詳しくはこちら ＞

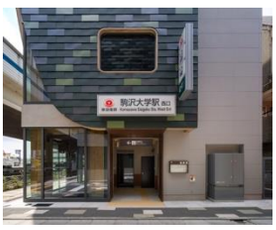
01 交通利用応援

バリアフリールートの整備

BABY CHILD TEEN

東急線では、すべてのお客さまが利用しやすい鉄道を目指し、駅施設や車両の改良などのバリアフリー化を積極的に進めています。ベビーカーや車いすで移動する方が利用しやすいよう、段差の解消が必要とされていた99駅全駅にエレベーターやスロープを設置し、バリアフリールートを整備しました。さらに道路や線路などで分断されている駅においては、エレベーターの整備などを通じたバリアフリールートの複数化を推進しています。

2024年6月29日には駒沢大学駅において西口エレベーター（改札階～地上階）の運用を開始。東急線沿線で8駅目となるバリアフリールートが複数ルートある駅となりました。



駒沢大学駅のエレベーター

2023年度末時点の整備状況

- **段差の解消**　全駅段差解消済み（99駅）
  ・エレベーターによる解消　70駅
  ・スロープによる解消　28駅
  99駅のうち1駅（こどもの国駅）は段差なし
- **エスカレーター**　53駅
- **段差・隙間縮小に資する設備**　15駅19箇所

詳しくはこちら ＞

ワイド改札機

BABY CHILD TEEN

全駅の全改札口にベビーカーや車いすをご利用のお客さまが通りやすい幅90cmの改札機を整備しています。

詳しくはこちら ＞

乳幼児をお連れのお客さまも利用しやすい駅構内トイレの整備

BABY CHILD TEEN

すべての駅構内トイレにおいて、大便器を洋式化するとともにウォシュレットを設置しています。また、多機能トイレにはキッズチェアを完備。一部にはベビーベッドも備えています。

多機能トイレに利用者が集中しないための機能分散にも取り組んでおり、2024年12月にリニューアルした多摩川駅の駅構内の男性トイレ・女性トイレにはベビーカーが入れる広さを備えたブースを設置し、乳幼児をお連れのお客さまもご利用しやすくなりました。環境に配慮した節水型トイレを採用しています。

- **バリアフリートイレ設置駅**　87駅（2023年度末時点）

リニューアルした多摩川駅構内トイレ

詳しくはこちら ＞

01 交通利用応援

車両のフリースペース整備

BABY CHILD TEEN

あらゆるお客さまが利用しやすい車両を目指して、車いすやベビーカーなどを置くことができるフリースペースの拡充を進めています。東急電鉄のすべての編成には車いすスペースを設けており、ベビーカーを置くことも可能です。2016年以降の新造車両には、車いすやベビーカーをご利用のお客さまにも活用いただける広いスペースを全車両に1カ所設置しています。また、乗務員と通話ができる非常通報装置を備えています。

詳しくはこちら ＞

ホームドアの整備とホームと電車の隙間解消

BABY CHILD TEEN

東急電鉄では、ホームからの転落や列車との接触を防ぐために、ホームドアまたはセンサー付固定式ホーム柵をすべての駅で整備しています（世田谷線・こどもの国線を除く）。

また、どなたでも安全にホームと列車を乗り降りできるよう、ホームと車両床面の段差・隙間を縮小する取り組みを進めています。車いすスペースがある車両ドアの一部の乗降口や、ホームと列車の隙間が大きい乗降口に、隙間を可能な限り縮小するための転落防止ゴムを設置し、お客さまのスムーズな乗降や移動をサポートします。

転落防止ゴム

2022年2月から、西日本旅客鉄道、大阪市立デザイン教育研究所、大阪市立大学が協働して推進していた「こども隙間転落防止プロジェクト」に東急電鉄が参画（現在は京王電鉄・横浜市交通局も参画）。保護者への啓発活動に加え、お子さま自身に列車乗降時のホームと列車の「隙間」を認知していただくことを目的とした取り組みを進めており、その一環としてオリジナルキャラクター「スキマモリ」を起用した啓発を行っています。

「スキマモリ」

ホームドア　詳しくはこちら ＞

スキマモリ　詳しくはこちら ＞

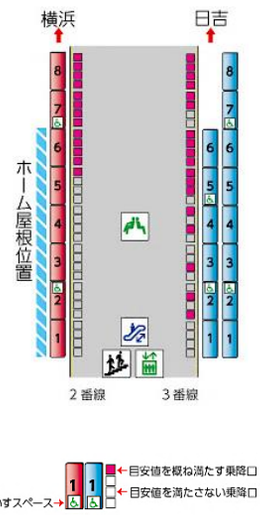
「東急線アプリ」やホームページでの情報発信

BABY CHILD TEEN

お出かけ前に駅や車両の情報をご確認いただき、安心して鉄道をご利用いただけるよう、東急電鉄のホームページのほか、スマートフォン向けアプリケーション「東急線アプリ」において、東急線や東急バスに関するさまざまな情報やサービスを発信しています。

エレベーター、エスカレーターなどのバリアフリールートや、ホーム屋根や車両の車いすスペースの位置、ホームと車両乗降口の段差・隙間といったバリアフリーに関する情報などを公表しているので、あらかじめ路線や駅の情報をご確認いただくことで、スムーズにご利用いただけます。

駅構内においても、エレベーター内などのバリアフリールート上にも段差・隙間に関する情報を掲示しており、さらにホーム上ではバリアフリーガイドラインに定める段差・隙間の目安値を満たす箇所が一目で分かるよう、目安値を満たし、かつ車いすスペースのある車両ドア※の乗降口にピンク色のシンボルサインを掲示しています。



※ 東急電鉄車両を基準としており、一部車両や混雑状況、ホーム形状などにより目安値を満たさない場合があります

詳しくはこちら ＞